



鳥取市教育センターだより

第3号 平成27年7月1日発行

〒680-0053
鳥取市寺町150番地
TEL 0857-36-6060
FAX 0857-26-3878
E-mail
kyo-center@city.tottori.lg.jp

“教員は本来学校で育つもの”

早いもので、平成27年度がスタートして3か月余りが過ぎようとしています。本センターの研修も多くなり、各小学校での「ひらがな音読支援」も始まりました。また、教育相談や早期支援の相談件数も増加し、本センターのホームページの閲覧数も昨年度の1.5倍程度に増加しています。

(ホームページに記事を提供していただきました「鳥取市小学校教育研究会特別活動部会」にお礼申し上げます。)

また、先日(6月18日)は、「第2回鳥取市小・中学校初任者校外研修会」が実施されました。最初は少し疲れたような顔をしていた初任者の先生もいましたが、研修の終わりには、皆“キリッと”した顔で帰っていきました。是非、今回の研修の成果が現場で発揮されればと思っております。ただ、あくまでも“教員は本来学校で育つもの”という考えを基本にすえ、初任者研修会・講師研修会を実施しております。

学校の中で、先輩から直接的・間接的に学ぶことや同僚との学び合いから、学習指導をはじめ児童生徒指導、学校・学年・学級経営などにおける資質の向上が図られると思います。もちろん、本人に自覚があれば、先輩の背中を見て自然と育つものだとも思いますが…。

学校は多忙でなかなか時間や場を見出せないと言われる今日この頃だからこそ、先輩の教職員から後輩の教職員へと引き継がれるものは大きく、個人の成長に大切なものと考えています。やはり、先輩が後輩を育てる、学校が人材を育てるのだと思います。しんどいからこそ、先輩から後輩へ伝えること、ともに一つの仕事に取り組んでいくことがより一層大切になっていくと思います。事務的な仕事も増え、一人でコンピュータに向かっている「個の仕事」が増えている今だからこそ、「組織でする仕事」が大切なのだと思います。

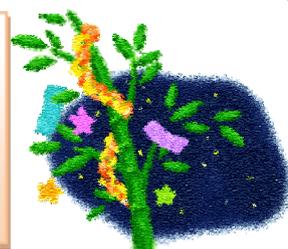
人と人との関係の中で個人を伸ばすとともに人間関係力を育て、組織として児童生徒の指導にあたっていただくことで、学校がより一層活性化することを願っております。

7月行事

- 1日(水) きなんせ! English World キャラバン
(青谷小・中学校)
- 7日(火) 第3回初任者校外研修会
- 29日(水) きなんせ! 先生のための English World

巡回教育相談

- 2日(木)
- 14日(火)
- 16日(木)
- 28日(火)
- 30日(木)



教育支援係

原点を見直して

鳥取市教育センターでは、昨年度のこの時期と比較し、相談件数が大幅に増えています。

電話・来所による保護者相談には、学校の対応に不安を持たれているものが多いです。お話を伺う中には、初期対応の1つ1つの行き違いが、後の大きなトラブルにつながっているケースが何件かあります。日頃「できている」と感じている、多忙な中、「些細なことであっても実は大事な事」を落としているかもしれません。今一度原点に戻り、次のようなことを点検してみてください。

○報・連・相はできていますか？

小さなトラブルでも、周りの職員（学年団等）と共有しましょう。必要があれば、学年主任等を通して管理職に相談し、すぐに対応しましょう。

○子ども・保護者の思いを受けとめていますか？

「またか・・・」「この子はトラブルをよく起こすから。」などと、先入観を持って子どもや保護者の対応をすることはありませんか？些細なトラブルに見えても、いじめの根っこが隠れているかもしれません。思いを受けとめながらしっかりと話を聞きましょう。



○納得がいくまで！

「対応したつもり」になっていませんか？子ども、保護者と話し合い、納得できたか確認をすることが大切です。電話より「家庭訪問」が大事です。もちろんチームで話し合った方針を持って。

○学校の体制を物語る電話対応

電話の受け方一つで誠意が分かります。保護者、地域の方・・・どの方に対して、ていねいな言葉で温かい対応ができていますか？

ひびきセミナー



子どもたちへの関わり方や学級の環境づくりについて見直す機会として、ぜひ「ひびきセミナー」を利用してください。『エール』（鳥取県発達障がい支援センター）の指導助言をいただきながら、子どもの理解の仕方や支援のポイントについて学ぶことができます。事例をもとに話し合うことで、校内体制や、教師としての日々の指導について振り返る機会にもなります。

申し込みは電話でお願いします。『エール』と調整し、開催の日時を決めます。夏季休業中の「学級経営研修」にいかがでしょうか？

研修企画係

学力向上研修会

児童生徒の自信と誇りを授業の力で

授業を
ふりかえって
みましょう！

学力向上は児童生徒の実態把握から

6月11日（木）に各学校の学力向上担当者を対象として研修会を開催しました。本年度の学力向上の取り組みについて確認した後、中学校区グループで今後の実践へ向けた熱心な意見交換が行われました。第2回は12月に実施の予定です。

《参加者の感想》

- ・鳥取市の取り組みのキーワードである「自治力」を意識し、児童生徒自ら考え学び合う授業づくりをめざしたい。
- ・実践する内容が明確になり意欲がわいてきた。



各学校の取組計画について協議

①児童生徒は、 何をどう学ぶか、めあてをつかんでいますか

(ポイント例) ●つきたい力を明確に(実生活とつなげながら)
●学ぶ(学び合う)意欲が高まる言葉かけ、しかけ

②児童生徒は、 自ら考え学んで(学び合っ)ていますか

(ポイント例) ●ねらいにそった、主活動(話し合い)の目的・視点の設定
●説明重視からゆきぶり・評価重視へ

③児童生徒は、 ふりかえりて、学んだことを実感していますか

(ポイント例) ●めあてとふりかえりて、1時間を確かな学びに
●授業に生きる家庭学習

評価は児童生徒の姿で



鳥取市教育キャラクター
「鷹様ケオくん」

初任者研修会

児童生徒との信頼関係を築くために

6月18日（木）に、「児童生徒理解」をテーマに研修を行いました。まず、心をつなぐコミュニケーションゲームを体験し、学級の人間関係づくりについて研修しました。後半は、児童生徒との信頼関係を築くために日々の教育活動で心がけていることを話し合いました。明日からの実践への意欲を高める機会となりました。

《参加者の感想》

- ・ゲームを通して、笑顔が人と人をつなげる力があることを肌で感じた。ねらいや配慮を忘れず取り組んでいきたい。
- ・当たり前のことが当たり前でできることが信頼の一步だと思うので、日々の小さな積み重ねを大切にしたい。
- ・組織人としての自覚をしっかりと持って行動したい。子どもや保護者からの期待を信頼に変えられるよう努力したい。



コミュニケーションゲームで皆が笑顔！



小・中学校それぞれの視点で意見交換

ニーズに応じた研修で教師力アップ

夏季休業中の活用を募集中！

6月8日 修立小学校

若い先生方3名と、指導案を通して、めあての設定、主発問とふりかえり、評価との関連等を考えました。

普段の生活場面での「信頼関係」を大事にしなが、つきたい力をしっかりと意識して授業を構成することを話し合う中で、お互いが刺激し合える研修となりました。

《参加者の感想》

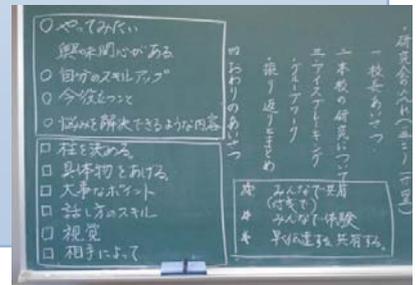
- ・指導案の検討を通して、自分の授業に対する思いを見直すことができた。子どもたちに一番伝えたいことは何か考え直し、授業に臨みたい。

6月10日 逢坂小学校

1年生の国語科の授業研究を中心とした全体研修会を行いました。

- ①グループワーク…「バースデイライン」等
- ②研究協議…課題提示、ふりかえり等
- ③シェアリング

小グループで活発な意見交換が行われ、実践に生かそうという意欲が高まったようです。



英語がわかるとおもしろい！

6月6日 English World

小学5・6年生31名が、ALT等13名と「夏」をテーマにした活動を楽しみました。どの参加者も、外国人の先生と積極的に英語で交流ができました。



《参加者の感想》

- ・緊張したけど楽しかった。英語がうまくなったと思う。
- ・いろいろな国の人や初めて会った人と話げできた。また来たい。
- ・先生方がやさしく教えてくださったので、参加してよかった。



英単語を使ってビンゴゲーム

6月24日 キャラバン(湖南学園)

学年ごとの活動の他、7・9年生は、23・24の2日間の日程で湖南学園を訪れていた日南中学校の生徒やALTと、英語でのコミュニケーション活動を楽しみました。



英語の自己紹介で交流スタート



テーマを決めてスピーチやQ&A